

令和4年度第1回 徳島県地域年金事業運営調整会議資料

資料2：令和3年度地域年金展開事業実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・	(1～ 3)
資料3：令和3年度徳島県年金セミナー実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・	(4～ 5)
資料4：令和3年度徳島県年金セミナーアンケート集計結果・・・・・・・・	(6～12)
資料5：委員から寄せられたご意見等に対する対応状況・・・・・・・・	(13～25)

日本年金機構
徳島北年金事務所
(徳島県代表年金事務所)

■ 令和3年度 地域年金展開事業実施状況

資料2（地域連携事業）

事業名		月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (年金月間)	12月	1月	2月	3月	合 計
企業や関係団体等における年金制度説明会の実施	徳島北					県下合同市町村制度等説明会 5市10町 (人数は徳島北で計上)								県下合同新規適用事業所オンライン説明会 20名 (人数は徳島北で計上)	15市町 20名
	徳島南														—
	阿波半田										オンライン 実施 4市町村				4市町村
ハローワーク窓口での年金制度の周知啓発	徳島北	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止													—
	徳島南	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止													—
	阿波半田	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止													—
市町村広報誌での年金制度の周知啓発 (掲載回数)	徳島北	4市3町 7回	3市1町 4回	4市2町 6回	4市3町 7回	3市3町 6回	4市2町 6回	3市2町 5回	3市5町 8回	3市3町 6回	4市6町 10回	4市2町 6回	3市3町 6回	77回	
	徳島南	1市4町 5回	2市5町 1村8回	1市4町 1村6回	2市5町 1村8回	2市5町 7回	2市5町 1村8回	2市4町 1村7回	1市4町 1村6回	1市4町 1村6回	2市5町 7回	1市4町 1村6回	2市4町 1村7回	81回	
	阿波半田	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	2市2町 4回	48回
予約相談の周知	徳島北											徳島税務署 鳴門税務署 川島税務署			3回
	徳島南											阿南税務署			1回
	阿波半田											2税務署 3市町役場 税担当			5回
市町村担当職員向け 情報誌『かけはし』 の発行	徳島北		○		○		○		○		○		○		6回
	徳島南		○		○		○		○		○		○		6回
	阿波半田		○		○		○		○		○		○		6回

■ 令和3年度 地域年金展開事業実施状況

資料2（年金セミナー事業）

事業名		月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (年金月間)	12月	1月	2月	3月	合 計
年金セミナーの実施	徳島北		資料4にて詳細報告												
	徳島南														
	阿波半田														
エッセイ募集に関する協力依頼	徳島北		マスコミへ プレスリ リース	大学、専門 学校、高等 学校等 109か所											マスコミ 1回 学校等 109か所
	徳島南														
	阿波半田														

■ 令和3年度 地域年金展開事業実施状況

資料2（地域相談事業）

事業名		月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (年金月間)	12月	1月	2月	3月	合 計
ハローワークの雇用 保険受給者説明会での年金制度説明会の 実施（会場数・参加 人数）	徳島北	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止													—
	徳島南	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止													—
	阿波半田	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止													—
出張年金相談の実施	徳島北 (社労士：鳴門市2 回、阿波市2回、吉野 川市)	12名 10名 6名	14名 10名 5名	11名 10名 5名	14名 10名 4名	11名 10名 4名	11名 11名 3名	14名 9名 3名	10名 10名 4名	10名 8名 4名	13名 10名 4名	9名 8名 2名	12名 10名 5名		306名
	徳島南 (牟岐町、阿南市)	実施なし	実施なし	牟岐町 4名	阿南市 6名	牟岐町 7名	阿南市 9名	牟岐町 7名	阿南市 9名	牟岐町 6名	阿南市 4名	牟岐町 7名	阿南市 9名		68名
	阿波半田 (美馬市、三好市、 東みよし町)								2名 5名 3名						10名

令和3年度 地域年金展開事業実施状況

資料2（年金委員活動支援事業）

事業名		月別												合 計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 (年金月間)	12月	1月	2月	3月	
年金委員研修の実施 (参加人数) 年金委員表彰（被表彰者数）	徳島北				委員研修 54名			委員研修 33名	表彰者 4名			県下合同オンライン説明会 97名（人数は徳島北で計上）		188名
	徳島南							委員研修 9名	表彰式 3名					12名
	阿波半田							委員研修 12名	表彰式 1名					13名
職域型年金委員（ハナミズキ通信等）、 地域型年金委員（みつばち通信等）への 情報提供の実施	徳島北	○ハナミズキ通信 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○ハナミズキ通信 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○ハナミズキ通信 他 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○ハナミズキ通信 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	ハナミズキ通信：4回 みつばち通信：12回
	徳島南	○ハナミズキ通信 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○ハナミズキ通信 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○ハナミズキ通信 他 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○ハナミズキ通信 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	ハナミズキ通信：4回 みつばち通信：12回
	阿波半田	○ハナミズキ通信 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○ハナミズキ通信 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○ハナミズキ通信 他 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	○ハナミズキ通信 ○みつばち通信	○みつばち通信	○みつばち通信	ハナミズキ通信：4回 みつばち通信：12回
四国ブロック社会保険委員会連合会連絡協議会（高知県）	徳島北	新型コロナウイルス感染症のため中止												—
	徳島南													—
	阿波半田													—
地域型年金委員連絡会（県）及び地区連絡会	徳島北												書面開催 県4名 地区33名	県4名 地区33名
	徳島南												書面開催 地区5名	地区5名
	阿波半田												書面開催 地区7名	地区7名

■ 令和3年度徳島県年金セミナー実施状況

資料3（徳島県）

回数	開催日時			学校名	対象者		講師	補助者
1	R3.10.28	木	50分(対面) 13:30~14:20	徳島県立吉野川高等学校	3年生	100名	職員	職員
2	R3.11.8	月	DVD使用	専門学校健祥会学園介護福祉学科	1年生	35名		
3	R3.11.8	月	DVD使用	専門学校健祥会学園保育学科	1年生	13名		
4	R3.11.22	月	DVD使用	専門学校健祥会学園理学療法学科	1年生	43名		
5	R3.11.22	月	DVD使用	専門学校健祥会学園作業療法学科	1年生	29名		
6	R3.12.13	月	DVD使用	徳島県立徳島商業高等学校	3年生	26名		
7	R4.1.31	月	40分(対面) 9:05~9:45	徳島市立高等学校	3年生	313名	職員	職員
8	R4.1		DVD使用	学校法人穴吹学園	1年生	10名		
9	R4.1		DVD使用	徳島県立徳島中央高等学校昼間部	3年生	63名		
10	R4.2.7	月	50分(対面) 10:00~10:50	徳島県立阿波西高等学校	3年生	49名	職員	職員
11	R4.2.7	月	DVD使用	徳島県立城西高等学校神山分校	3年生	31名		
12	R4.2.21	月	DVD使用	徳島県立名西高等学校	3年生	100名		
13	R4.2.24	木	DVD使用	徳島県立川島高等学校	3年生	121名		
徳島北年金事務所年金セミナー実施校数					2専門学校	8高等学校		
					13回	933名		

■ 令和3年度徳島県年金セミナー実施状況

資料3（徳島県）

回数	開催日時			学校名	対象者		講師	補助者
1	R3.9		DVD使用	徳島県立那賀高等学校	3年生	46名		
2	R3.10.28	木	90分（対面） 9:00～10:30	徳島県立富岡東羽ノ浦校	専攻科 1年生	37名	職員	職員
3	R3.12.14	火	DVD使用	徳島県立富岡東高等学校	3年生	31名		
4	R3.12.14	火	50分（対面） 10:50～11:40	徳島県立海部高等学校	3年生	14名	職員	職員
5	R3.12.21	火	100分（対面） 13:20～15:10	徳島県立富岡西高等学校	3年生	12名	職員	職員
徳島南年金事務所年金セミナー実施数：5高等学校					5回	140名		
1	R3.12.15	水	50分（対面） 10:50～11:40	徳島県立池田高等学校三好校	3年生	22名	職員	職員
2	R4.1.28	金	DVD使用	徳島県立脇町高等学校	3年生	163名		
3	R4.1.31	月	50分（対面） 9:45～10:35	徳島県立池田高等学校辻校	3年生	50名	職員	職員
4	R4.2.7	月	DVD使用	徳島県立穴吹高等学校	3年生	52名		
阿波半田年金事務所年金セミナー実施数：4高等学校					4回	287名		
3年金事務所年金セミナー実施数合計：2専門学校 17高等学校					22回	1,360名		

年金セミナー アンケート集計結果



徳島北年金事務所
徳島南年金事務所
阿波半田年金事務所

◆開催の詳細

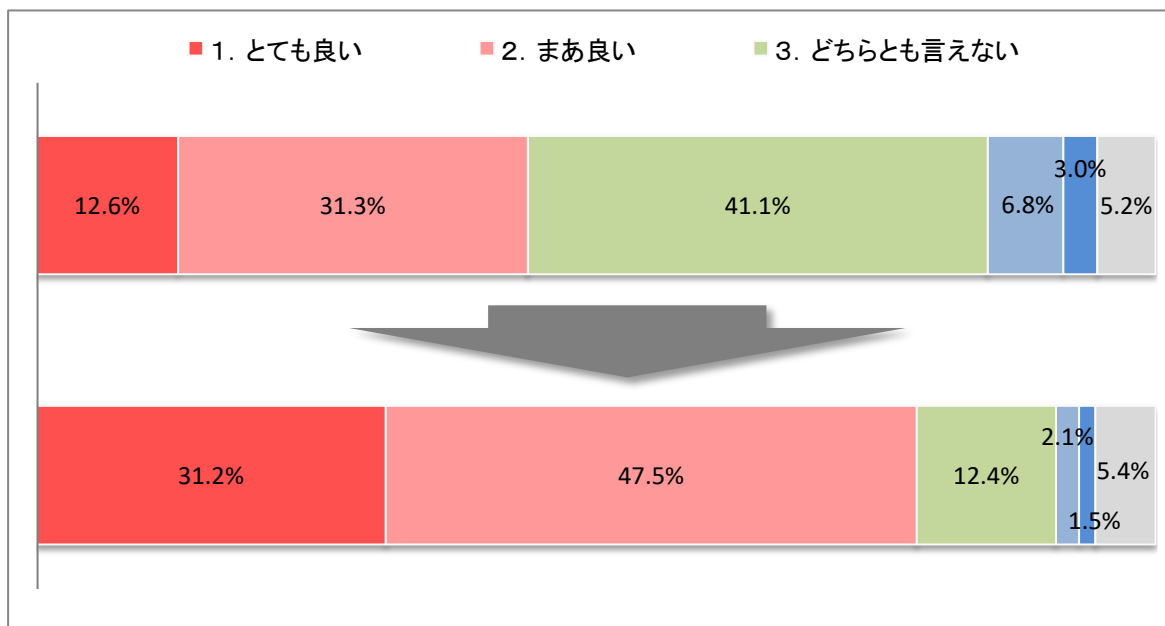
学 校 区 分	:	開催状況		:	受講者数
専門学校	:	2校	5回	:	130名
高等学校	:	17校	17回	:	1,230名
合計	:	19校	22回	:	1,360名

1. 年金のイメージ

○セミナー前

選択肢	回答
1. とても良い	172件
2. まあ良い	425件
3. どちらとも言えない	559件
4. あまり良くない	92件
5. 悪い	41件
無回答	71件

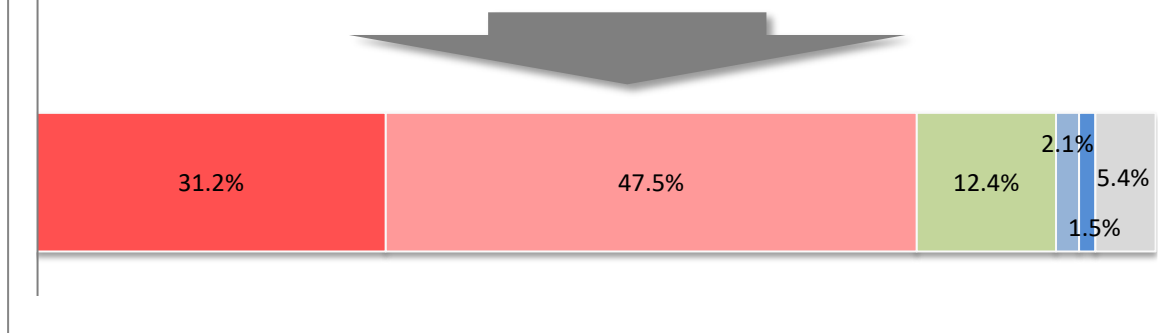
セミナー前



○セミナー後

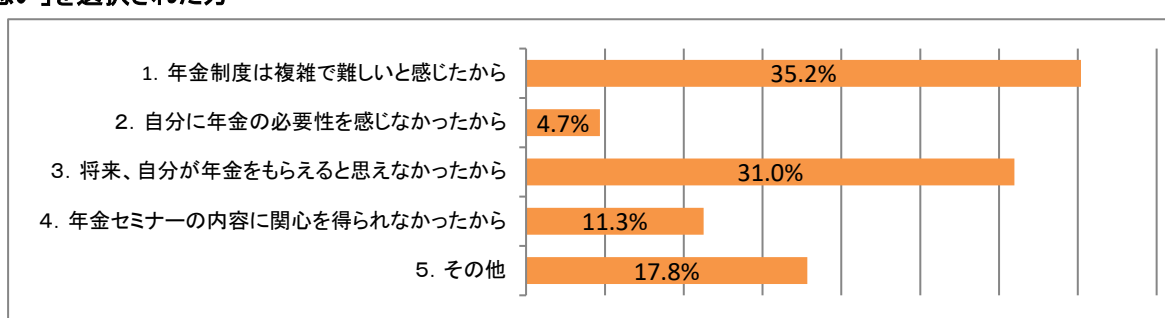
選択肢	回答
1. とても良い	424件
2. まあ良い	645件
3. どちらとも言えない	169件
4. あまり良くない	28件
5. 悪い	20件
無回答	73件

セミナー後



※セミナー後も「3. どちらとも言えない」「4. あまり良くない」「5. 悪い」を選択された方

選択肢	回答
1. 年金制度は複雑で難しいと感じたから	75件
2. 自分に年金の必要性を感じなかったから	10件
3. 将来、自分が年金をもらえると思えなかったから	66件
4. 年金セミナーの内容に関心を得られなかったから	24件
5. その他	38件

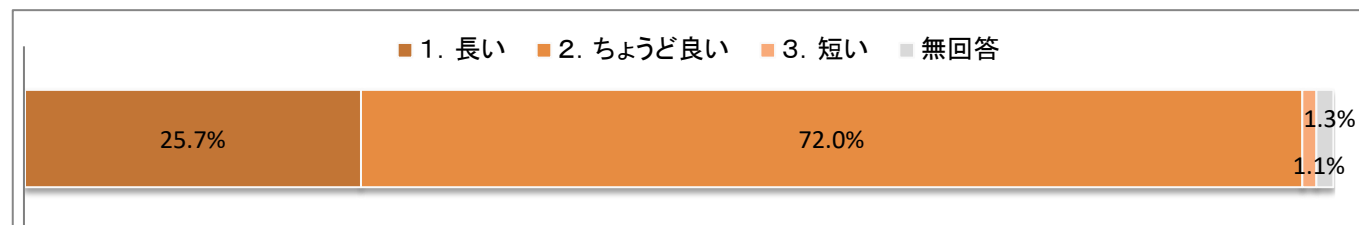


『まあ良い』以上の評価は、セミナー前の **43.9%** から、セミナー後は **78.7%** になりました。

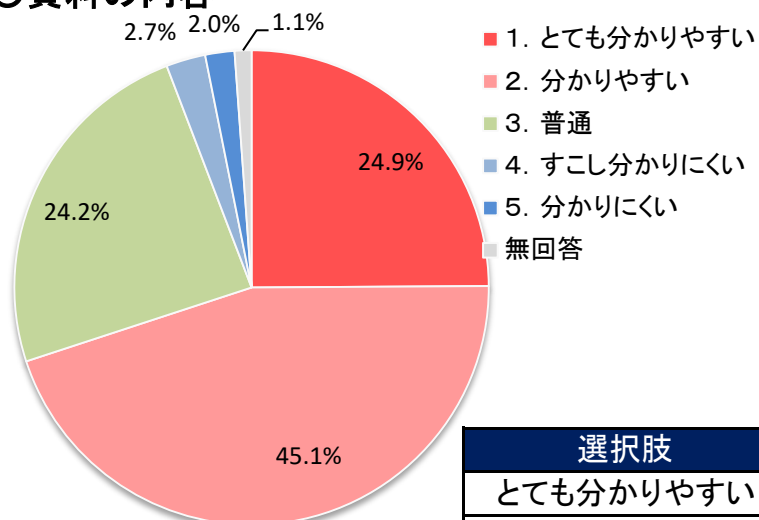
2. 講義について

○説明時間の長さ

選択肢	回答
長い	335件
ちょうど良い	939件
短い	14件
無回答	17件

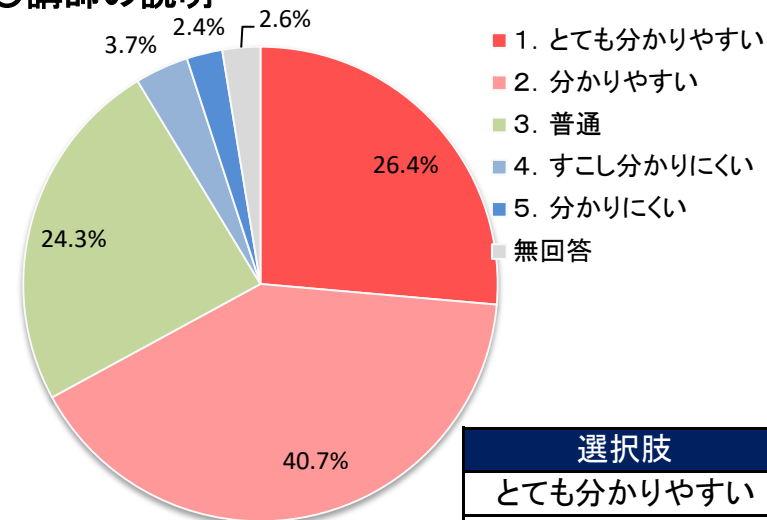


○資料の内容



選択肢	回答
とても分かりやすい	325件
分かりやすい	588件
普通	316件
すこし分かりにくい	35件
分かりにくい	26件
無回答	15件

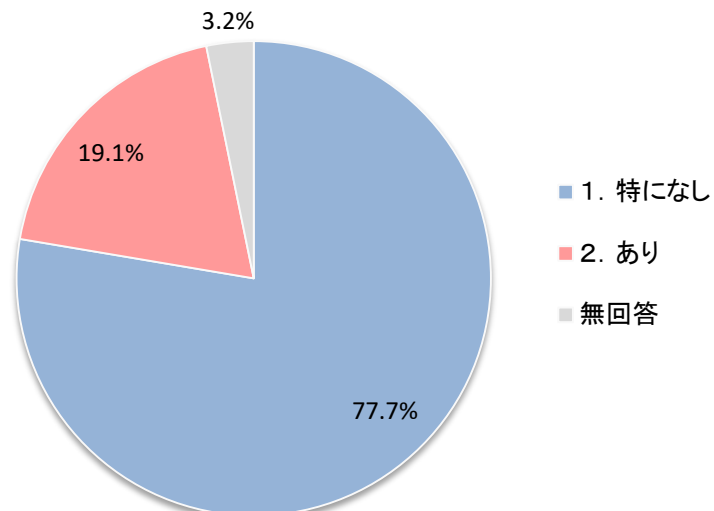
○講師の説明



選択肢	回答
とても分かりやすい	347件
分かりやすい	535件
普通	319件
すこし分かりにくい	48件
分かりにくい	32件
無回答	34件

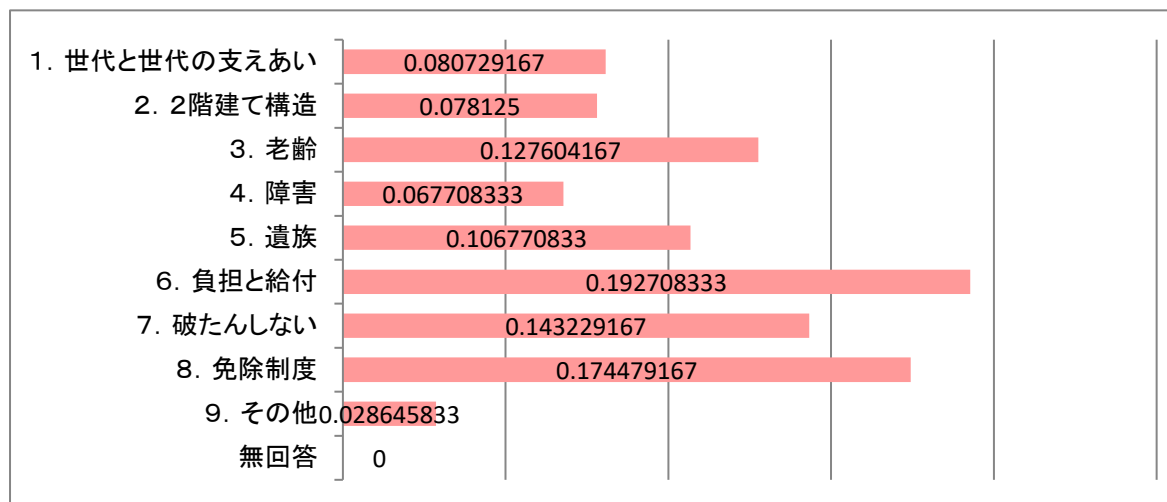
○詳しく説明してほしい内容の有無

選択肢	回答
特になし	1,015件
あり	250件
無回答	42件



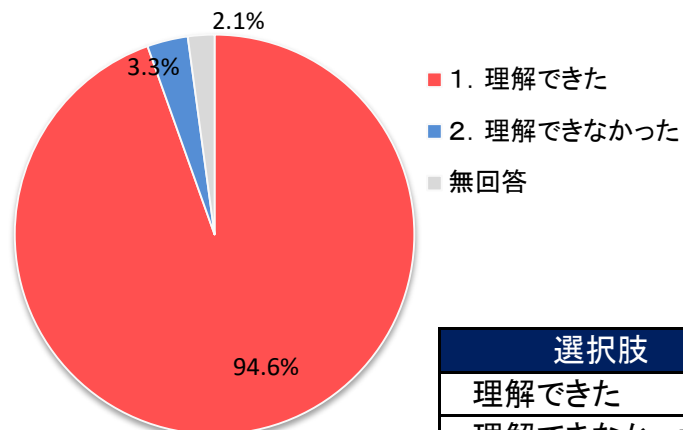
「あり」の場合（複数回答）

選択肢	回答
世代と世代の支えあい	31件
2階建て構造	30件
老齢年金	49件
障害年金	26件
遺族年金	41件
保険料負担と給付	74件
公的年金は破綻しない	55件
保険料の免除制度	67件
その他	11件
無回答	0件

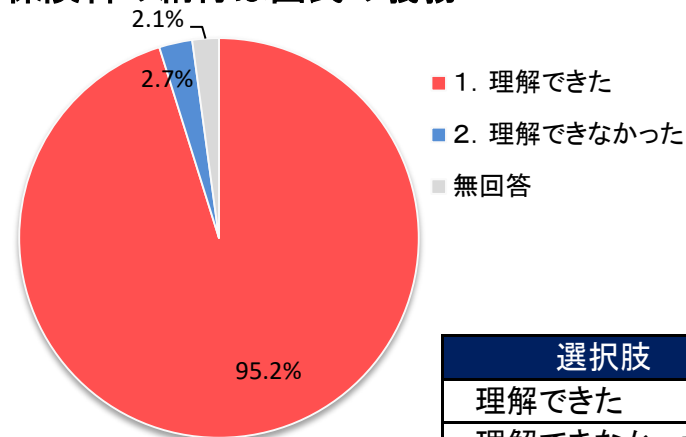


3. 年金制度の理解度

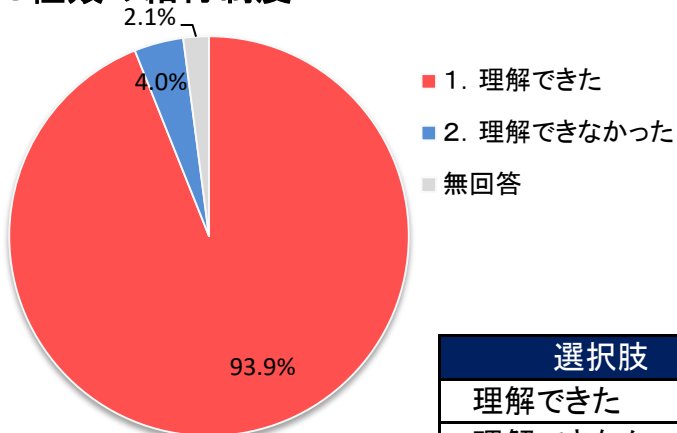
○20歳になったら国民年金に加入



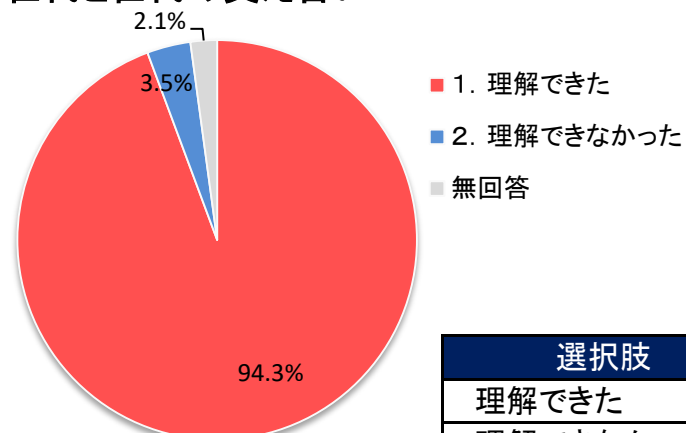
○保険料の納付は国民の義務



○3種類の給付制度



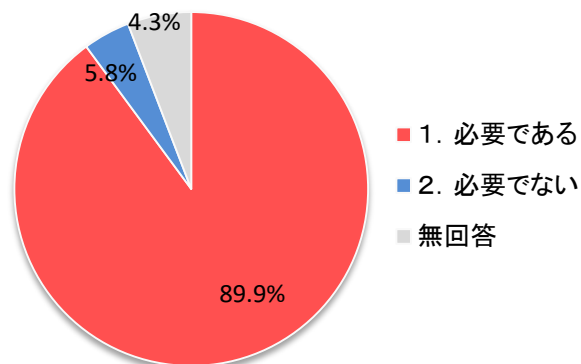
○世代と世代の支え合い



4. 年金制度の必要性

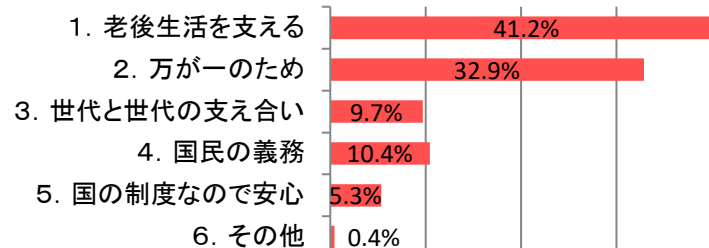
○年金制度は必要か

選択肢	回答
必要である	1,173件
必要でない	56件
無回答	76件



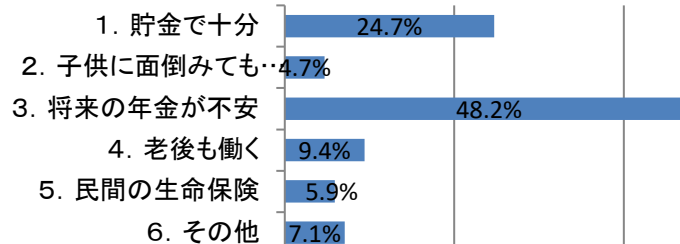
「必要」の場合(複数回答)

選択肢	回答
老後生活を支える	950件
万が一のため	759件
世代と世代の支え合い	224件
国民の義務	241件
国の制度なので安心	123件
その他	10件



「必要でない」の場合(複数回答)

選択肢	回答
貯金で十分	21件
子供に面倒みてもらう	4件
将来の年金が不安	41件
老後も働く	8件
民間の生命保険	5件
その他	6件



委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
1	山本委員 平成25年3月13日 開催の調整会議	後納制度による納付により、年金を受給できることとなった人数を教えてください	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	徳島県内の推定数字は作業により提供可能と考えるが、求められているのは全体の数字であり、機構として提供できるのか否かを確認したうえで対応したい。 後納制度を利用したことにより受給期間を満たした方は全国で、15,066人。
2	黒田委員 平成25年3月13日 開催の調整会議	厚生年金の適用・未適用の事業所データを提供できないか	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	日本年金機構個人情報保護管理金取扱要領、個人情報提供ガイドライン（事業所情報等の年金個人情報ではないが、個人情報保護管理規程において準用する）により、提供先と提供データ、根拠法令及び使用目的が定められているため、ご理解をお願いする。 【内部規定はお示しできないので口頭でご理解を得たい】
3	黒田委員 平成25年3月13日 開催の調整会議	厚生年金への加入については義務と考えるので、真面目な会社のみ損をしないよう、法による根拠を示してほしい	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	厚生年金保険法第6条（健康保険法は第3条）に該当する事業所は適用事業所とするとされています。 【社会保険六法を持参してお示ししたい】
4	野口委員 平成25年6月21日 開催の調整会議	ハローワークでの説明会で口座振替、クレジットカードの取扱いについて	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	「国民年金の保険料口座振替納付申出書兼依頼書」があり、必要事項をご記入のうえ、口座届出印を押印し、金融機関の確認印をいただいた後、提出していただくようになる。その場でご記入、押印いただいたら、金融機関へはこちらのほうから送付し、ご返送いただく取り扱いとしている。クレジットカードでのお支払いについては既に実施している。カード名義人は本人以外の家族のカードでも同意をいただければご利用いただける。クレジットカードの有効性の確認をさせていただいている。クレジット会社が一旦、立替払いをするので、カード残額がなくても納期に納付となるメリットはあると考える。
5	南委員 平成25年6月21日 開催の調整会議	県下で地域型年金委員と職域型年金委員はそれぞれどのくらいの数がいるのか。 職域型の年金委員は沢山いるが、地域型の年金委員については、少ないので増やしていかないといけない。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	地域型年金委員の方は、25年1月に更新の手続きがあり、現在、県下で18名です。地域型の年金委員は徳島北事務所管内584名、徳島南事務所管内458名阿波半田事務所管内190名徳島県として1,232名となっている。 年金委員の重要性を認識 職域型年金委員辞退時に人事異動等の場合は後任の方の推薦依頼、退職の場合は職域型から地域型への移行を勧奨する。
6	南委員 平成25年6月21日 開催の調整会議	年金出前授業の推進について	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	平成25年11月20日、年金セミナー実施。 60分、対象者：2年生 53名 平成25年度第2回資料「年金セミナーアンケート結果」のとおり

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
7	前田委員 平成25年6月21日開催の調整会議	高等学校での出前授業をぜひやっていただきたいと思っている。具体的な話があれば、ご相談いただいたら、協力させていただきたい	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	今後とも、引き続きご協力をお願いしたい。 平成26年度より教職員OB等を「地域年金推進員」として委嘱し、特に高校・中学を対象に個別学校訪問形式で年金セミナーなどの活動を行う予定。
8	南委員 平成25年6月21日開催の調整会議	エッセイの受賞者への記念品は	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	昨年も図書券だったが、応募の状況を見てみると、昨年、約450名の方に応募いただいたが、その中の85%の方が高校生だった。そういったこともふまえ図書券の予定です。
9	中村委員 平成25年6月21日開催の調整会議	地域年金展開事業について、色々な取組、広報を行う場合に、どこに狙いを置き、そのためにはいろいろな工夫が必要。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	委員の皆さまのご意見、ご協力、あとネットワーク等もぜひご活用させていただきたい。
10	谷口委員 平成26年3月12日開催の調整会議	資料3「年金事務所別の後納制度利用状況・納付状況」の徳島北・阿波半田年金事務所に比べ徳島南年金事務所の相談受付件数が非常に多いが何か要因はあるのか	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	徳島市の国民年金の管轄は徳島北年金事務所であり、お知らせ件数は徳島北年金事務所です。同じ市内にある徳島南年金事務所の方へご相談に行かれた方も多かったものと考えている。
11	青木委員 平成26年3月12日開催の調整会議	マスコミ等に対して、資料を情報として提供するなどして、後納制度の説明や状況を記事で広報してもらう等の試みもよいのでは。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	そういった機会を作れるようにしたい。
12	米澤委員 平成26年3月12日開催の調整会議	「年金セミナー」について、2年生の学生が対象ですが20歳ということ意識して対象として選定されたのか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	基本的には、20歳になる学生で、これから年金に加入、納付となる年齢です。
13	三宅委員 平成26年3月12日開催の調整会議	年金エッセイ募集の学校への働きかけについて	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	徳島県教育委員会へ協力依頼を実施。 県内大学、高等学校、中学校へ募集のポスター、リーフレットを送付。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
14	南委員	説明の言葉について、できるだけわかり易い言葉に置き換えるとか、もう少し詳しい説明が必要ではないかと感じた。 この制度は将来的にも維持されていく制度ですという説明をされた方がよい。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成26年3月12日）	今後のセミナーの実施に活かしていきたい。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
15	谷口委員	アンケートについて、講義を受ける前と後のイメージについて、五者択一となっているが、その理由も選択肢で選べるようにしたらいいのではないか。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成26年6月13日）	全国統一的な様式となっており、また、スペースの関係もある。見直し等の時に要望としてあげたい。 なお、平成26年度のアンケート用紙について、見直しがされている。別添資料のとおり。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
16	三宅委員	2000年生まれの方の試算があるが、何歳まで生きられたらという試算であるとの説明を加えたらと思った。資料が平成21年度財政検証結果レポートとなっているが少し古いのではないか	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成26年3月12日）	厚生労働省年金局から出ているものであり、新しい資料はまだ出ていない。出れば新しいものに差し替えをさせていただく。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
17	村上委員	スタートしたばかりなので、企業に影響はないと思うが、これが進んできた時に各企業の年金委員の方にもこのようなことを行っているということを周知していただきたい。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成26年3月12日）	委員研修会等での周知を図りたい。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
18	米澤委員	高校生、大学生が対象であれば、障害年金等のこともクローズアップして説明をしたらよいと思う。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成26年3月12日）	今後のセミナーの実施に活かしていきたい。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
19	南委員	セミナー開催時のエッセイの入選作品集の配布	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成26年3月12日）	エッセイの作品集については、学校への配布についても考えていきたい。「知っておきたい年金のはなし」にも一部掲載されているのでこれを活用したい。
	平成26年3月12日開催の調整会議			
20	山本委員	地域型の年金委員の活動の場というのはあまりないのが現状であり、なかなか簡単には増やせない状況です。行政の方から自治体、地域の自治会、町内会に対してもう少し働きかけていただきたいと思う。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成26年3月12日）	地域に出向くということで、自治体に働きかけていきたい。自治体を辞められた方に地域型の年金委員への委嘱をお願いする等広めていき、どのような活動をすればよいのかも協議しながら取組を進めていきたい
	平成26年3月12日開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
21	米澤委員 平成26年6月13日開催の調整会議	今会議について、マスコミに対して積極的に働きかけていますか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	四国ブロック管内ではこれまで1件しか取材がない状況です。早めにプレスリリースをするようにしたい。
22	青木委員 平成26年6月13日開催の調整会議	年金セミナーで、もう少し文科省にも働きかけることが大事なのではないでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	一昨年から文科省にお願いをし、各県の関係機関および教育委員会に通知を出してもらっている。また、学生納付特例申請書の受付について、学校で受付できる仕組みも県の教育機関等へ通知を出してもらっている。
23	南委員 平成26年6月13日開催の調整会議	大学では持ち運びに便利なパンフレットを持って帰っている傾向です。少し小さ目なパンフレットにする工夫をお願いしたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	学生納付特例や20歳での国民年金加入などのチラシ・パンフレットはA4版の三つ折りでの提供ができます。また、「国民年金・厚生年金 被保険者のしおり」A6版もありますので、設置をいただきたいと思います。
24	草野委員 平成26年6月13日開催の調整会議	年金セミナー開催の働きかけについて特定の学校、大学に直接お願いに行くことが有効。今回、年金推進員として教員のOBを推薦させてもらった。これまでのネットワークでセミナー実施に向けて進めていければと思います。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	地域年金推進員の積極的な取組みにより、徳島北管内の高校20校のうち8校10回および中学校1校の合計11回のセミナーが実施できました。アンケート結果では、セミナー実施前と実施後では、年金制度に対する理解が大幅に増加しました。また、多くの意見や要望もいただきました。今後も、地域年金推進員の力をお借りしながら、セミナーを実施していただいた高校中学は引き続き実施に向けて取組み、また実施できていない高校は粘り強く要請を行っていく。
25	田村委員 平成26年6月13日開催の調整会議	地域年金推進員の委嘱要件②(管理担当事務所及び管轄地域内で活動できること)について、地域に沿った委嘱要件にした方がよいのでは。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	原則は管轄区域内ですが、地域年金推進員のこれまでの経験やネットワークの中で、管理担当事務所と相談して柔軟に対応してもよいと考えている。
26	草野委員 平成26年6月13日開催の調整会議	マスコミに取り上げてもらうために、学校でのセミナー実施のうえに、他の団体で、今までやっていなかった協力関係の場をつくるなど、目新しさを出した方がよいのでは。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	この会でいろいろご意見をいただき、より効果的なものを可能な限り取り入れて、マスコミに取り上げていただけるよう取り組んで参りたい。
27	南委員 平成26年6月13日開催の調整会議	「わたしと年金」エッセイについて、その作品をどう活用するかを考えていただきたい。うまく多くの人々に伝える活用の方法を考えていただきたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	教育委員会や高校、大学などの教育機関、市町村、社会保険労務士会、関係機関等へ送付している。また、年金委員・健康保険委員の研修会での配布、年金事務所の待合室への設置や日本年金機構HPでも公表しています。今後も多くの人に読んでいただけるよう様々なところへ設置または配布を取り組んでいきたい。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
28	南委員 平成26年6月13日開催の調整会議	ねんきんネットについて、もう少し簡単・便利な仕組みにしてほしい。高齢者にとって利用しやすくしてほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	ねんきんネットも「より使いやすい、より便利に」の視点で進化を続けておりますが、高齢者にとってはまだまだ使いにくいと考えます。もっと簡単で分かりやすい仕組みに引き続き本部に要望してまいります。
29	南委員 平成27年3月19日開催の調整会議	地域相談事業の実施状況について、事務所ごとに数字がありますが、前年度と比べての数字があった方がより活発になった取組み、取組みが足りない事業が見えてくるのではないかな。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年6月26日）	資料については、前年度と比較できるような資料を、できるだけ作成し提示したいと思います。今回は、年金セミナーの実施状況と納付率推移について提示します。
30	米沢委員 平成27年3月19日開催の調整会議	パンフレットやチラシの内容について、年金制度は分かりにくいとか、難しいというイメージがあるため、学生等や年金を受け取る側からの意見を取り入れ、初心者向け、学生向けとしたパンフ等を作成するということがよろしいか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	前回のこの会議で「チラシ等をコンパクトにできないか」というご意見に対しお示ししたものです。今後、そのような意見を取り入れて作成していきたい。
31	南委員 平成27年3月19日開催の調整会議	年金制度説明会において、年金セミナーと同様に説明会終了後、アンケートを実施してはどうか。そのアンケートによりフィードバックされることによって、制度そのものをもっと理解していただくことがこの事業の能率を上げていくためには必要ではないか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年6月26日）	徳島北年金事務所ではアンケートを実施しているところですが、今後は全拠点において、事業所等に出向いて年金制度説明会をする場合は、終了後にアンケートを実施していきたい。
32	高橋委員 平成27年3月19日開催の調整会議	今後のセミナー実施の参考とするため、年金セミナーのアンケートの集計方法は、大学、高校、中学、専門学校の4種類の対象者に分類した方がよいのではないかな。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年6月26日）	年金セミナーについては、高校生を主として実施しているところですが、大学、専門学校、中学校においても実施するため、今後は4種類に分類して集計したい。
33	米沢委員 平成27年3月19日開催の調整会議	再就職支援セミナーで講師をした中で、再就職を支援する方に労働保険、社会保険を説明したが、年金のことを「もっと知りたい」という意見が多かった。女性の再就職に着眼して、関係機関にパンフを配布する等、事業展開してはどうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	働く女性が多くなっているため、再就職を支援する関係機関等に対しパンフ等設置の協力依頼をしていきたい。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
34	中村委員 平成27年3月19日開催の調整会議	年金セミナーについては学生が対象だが、その保護者や一般（現役世代）の方も対象としていく方法もあるのではないかな。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成28年10月28日）	・地域型年金委員の活動として、取り組むことを考えている。（27.6.26） ・平成28年3月に、事業所に出向いて、年金制度説明会を、55歳以上と55歳未満に分けて開催する。若い世代に対して、試みとして年金セミナーを開催する予定としている。また、28年度から学校の教職員や保護者に対するセミナーも計画中である。（28.3.24） ・平成28年3月に、40歳～54歳までの高校生・大学生の子供を持つ従業員を対象に、事業所に出向いて、年金制度説明会を実施した。内容は、年金セミナー的であったが、受講者に好評であったため、今後、事業所に出向いて実施する年金制度説明会の中に、55歳未満の従業員に対する年金セミナーも選択肢として追加することとした。また、教職員を対象とする年金セミナー開催に向け、年金推進員を通して学校側にアプローチしたが、時間的余裕がないため開催のメドは立たない状況である。その対策として、生徒向けの年金セミナーに、教職員の方にもできる限り出席していただくようお願いして何人かの教職員の方が出席している状況である。（28.10.28）
35	中村委員 平成27年3月19日開催の調整会議	保険料を納付した人と納付しなかった人の具体的な違いを示すことによって、年金に対する意識が違ってくるのではないかな。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成27年6月26日）	年金セミナー打合せ会において、地域年金推進員からも、同様な意見が出ている。保険料を納めた人と納めなかった場合や免除（猶予）申請をした人と申請をしなかった場合にどのような違いがでるのかについて、具体的な金額を示す等、講師が説明するようにしていきたい。
36	中村委員 平成27年3月19日開催の調整会議	エッセイ作品集のドキュメンタリーを放映したり、また、「わたしと年金」エッセイを読んだ方が「ねんきんネット」の活用方法にも興味を示すようなくみを作ると、より一層、お互いが、引き立つのではないかな。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成28年3月24日）	・エッセイ作品集のドキュメンタリーDVDの製作、及びエッセイ入賞作品集の最終ページにねんきんネットのPRを掲載することについて、本部へ要望します。（27.6.26） ・27年度エッセイ集に、「ねんきんネット」の広報については、不正アクセス問題のため実現していないが、引き続き、本部へ要望していきたい。（28.3.24）
37	南委員 平成27年6月26日開催の調整会議	徳島県では、「わたしと年金」エッセイ募集について、学校単位での応募が、まだ無いようだが、学校単位で応募できるよう開拓していただきたい。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成28年3月24日）	地域年金推進員のセミナーに対する情熱とご尽力により、学校単位の応募が県下3高校からあり、生徒280人の応募があった。その中から、厚生労働大臣賞に次ぐ日本年金機構理事長賞を受賞した。機構本部で表彰式があり、その後、出身学校でも全生徒の前で表彰式を執り行った。このことが地元新聞にも大きく掲載された。また、1月に開催された校長会に、四国ブロック本部幹部が出席して、お礼と協力依頼を行うことができた。28年度においては、年金セミナーを、高校1～2年生を対象として夏休み前に実施し、夏休みの宿題として、エッセイ応募に繋げていく計画をしている。
38	南委員 平成27年6月26日開催の調整会議	参加型年金セミナー資料について、学生は、生活費がどれだけかかっているかな等は、イメージしにくいと考えるが、数字を使うことも困難と思うので、講師が、そのヒントになるようなことをお話してあげると良い。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成28年3月24日）	年金セミナー資料については、制限がある中、地域年金推進員と年金事務所のセミナーPTが協議しながら、大学・専門学校、高校においても、進学校と就職校に応じた資料を作成して、それに応じた講義をしている。また、生活費等に具体的な数字を使用することについては、日本年金機構HP等の資料を使用し、講師ができるだけ分かりやすく説明している。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
39	委員 平成28年3月24日 開催の調整会議	年金セミナー実施後の生徒からのアンケート回答欄の「公的年金制度は必要だと思いますか？」の選択項目について、「必要ない」と回答し、その理由として、「5.民間の生命保険で生活」等は、学生には難しく、もう少し学生向けの選択肢にされたらどうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	年金セミナーに関するアンケート用紙については、機構本部が作成し、全国共通として使用しているところですが、確かに学生の方にはピンと来ないかもしれません。この項目も含め、アンケート内容の見直しについて、機構本部へ要望を上げております。
40	委員 平成28年3月24日 開催の調整会議	年金セミナー実施後の生徒からのアンケート結果について28パーセントの効果に繋がらなかった原因はわかりますか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	徳島県集計のアンケート結果では、「まあ良い」以上の評価がセミナー開催後は72%になり、残り28パーセントの原因の分析として、現行のアンケートでは、「意見欄」で判断するしか方法がなかったが、平成28年度からは、年金セミナーアンケートに、「今回、セミナーを受けた後も年金のイメージが良くならなかった理由はなんですか？」というストレートな質問項目を追加するように改めました。したがって、アンケート集計結果により、「効果に繋がらなかった原因」を分析することが可能となった。（別紙アンケート参照、全国共通）
41	委員 平成28年3月24日 開催の調整会議	県下高校に対して実施した年金セミナー・アンケートの内容と学校側からの要望について知りたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	アンケートの内容は、年金セミナー開催に協力できるかどうかを質問し、協力できる場合は、開催時期と対象学年について回答をお願いするという、シンプルな内容となっています。（別紙、アンケート用紙を参照） 学校側から要望として、通常のカリキュラムの中では、年金セミナーを開催する時間的余裕がないので、修学旅行中や学期末考査後の特別時間割に入れさせてほしい旨の要望が多い。その結果、セミナー開催時期が12月～2月に集中してしまうことになる。
42	委員 平成28年3月24日 開催の調整会議	年金事務所は、年金セミナー実施後の生徒からのアンケートの意見欄は生徒の生の声なので、これを今後の講義資料の中に組み込み、幅広い年齢層に対し講義ができるよう講義資料を充実して、年金推進員に協力してほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	年金事務所では、若手の県下年金セミナーPT（10名）を、昨年度より立上げ、セミナー講師や講師補助をしている。今年度は5月から毎月PT会議・研修会を開催して、重複開催等、年金推進員が講義できないときの講師として、講師養成研修と講義資料の見直しを実施している。また、年金推進員との打合せ会議を定期的に開催し、アンケート結果等も分析して、講義資料を改良した。 年金セミナーでは、専門学校、進学校、就職校など、受講生に合わせた講義資料作りや講義の流れに配慮するなど、年金推進員のレベルアップが図られている。今後も年金推進員と協力連携を図っていきたい。
43	委員 平成28年10月28日 開催の調整会議	年金セミナーは、教職員や保護者に対するアプローチはしているかどうか。また、事業所に出向いての年金制度説明会において、お子さんをお持ちの親御さんや保護者に対しては何か説明をしているか教えてほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	教職員に対する年金セミナーの開催について、年度当初に県研修課に協力依頼したが、先生方が一堂に会することは困難な状況との回答であったため、当面は生徒に対する年金セミナーにできる限り多くの先生方に参加していただくよう、学校側をお願いしている。保護者に対するアプローチは、事業所に対して年金制度説明会をする程度である。年金制度説明会は、55歳以上の方を対象として、年金手続きや退職後の年金等について説明をさせていただいている。高校生や大学生の親御さんのみを対象した説明会は実施していない。ただし、年金制度説明会に40歳代や50歳代前半の方が参加している場合は、学生納付特例制度の説明もしている。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
44	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	年金セミナーPT職員も講師をしているということだが、セミナー終了後のアンケート結果をよく分析して、年金制度をこれから支えていく若い世代に「将来の不安」や「制度の不透明さ」等を理解していただかないと将来に必ず影響がでると思う。特に生徒の「意見・感想」が一番大事な生の声なので分析に力をいれるようお願いしたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	セミナー終了後に実施するアンケートの意見・感想は多くの生徒さんからいただいている。今後のセミナーPT会議・研修会において、詳しく分析して年金セミナーに役立てていくよう努めていく。年金セミナーについては、ほとんどは地域年金推進員の方に講師をお願いしているが、12月～2月にセミナーが集中するので、セミナーPT職員が講師をすることも多くなる。これまで地域年金推進員の方が講師をする場合も必ず補助者として参加させ、地域年金推進員の方の話し方等を実地研修させている。
45	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	事業所に出向いて年金制度説明会の対象年齢を決めているかどうか。若い方に老齢年金の請求の説明は理解が難しいので、すべての方を対象とするより定年前の方を集める方が良いと思うがどうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	以前は55歳以上の方を対象に説明会を開催していたが、若い方も年金制度そのものを知りたいというご意見もあり、今年度から若い方も含めて開催している。幅広い年齢層に対しても理解しやすい説明内容にするよう工夫をしている。年金への疑問は十人十色であり、だいたい説明会終了後に30分ほど延長して個別に質疑応答している。また、必要な方には年金加入期間照会票や年金見込額照会票をご記入いただき、後日、ご本人に直接郵送にて回答するサービスも実施している。本日のデモンストレーションは老齢年金請求について30分設定で開催したが、本番は基本1時間で開催している。
46	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	国民年金保険料の納付率は、60%ということだが、残り40%の方の対応や取組み状況について教えてほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	40%については、国民年金保険料を納めていない未納者ということになるが、その中には、所得が少ないため一部免除申請が承認されても納められない方も含まれている。これら未納者全員に対し、納付勧奨を実施している。
47	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	国民年金保険料を納付しない人に、厳しめの対応はできないか。また、納付しない理由は色々あると思うが、納められない原因を突き止めていけば、もっと対策ができると思うがどうか。 また、学生へのアプローチを強めていけば、今後の納付率にも繋がるのではないか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	国民年金は、未納者全員に納付勧奨している。一定所得があれば、差押え予告後、強制的に財産を差し押さえることはしている。また、学生へのアプローチについては、大学や専門学校に対するセミナー開催やイベントの協力依頼も含め、今後も強めていきたいと考えているところである。なお、高校生に対する年金セミナーにおいても、引き続き学生納付特例申請のPRに努めていく。
48	委員 平成29年3月16日開催の調整会議	DVDの視聴できるサイトとかあれば気軽にみられるのでは。また、5分くらいの短縮バージョンが好ましいと思います。	☐ 今回報告案件 ☒ 継続対応中 ☐ 報告済	貴重なご意見として、本部関係部署に要望してまいります。
49	委員 平成29年10月20日開催の調整会議	以前は、機構のホームページにはリーフレット類が多く掲載されていたが、最近は少なくなった気がする。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成30年3月20日）	委員の事務所を訪問し、機構ホームページ上のパンフレット類を確認。現在掲載してある分を確認していただきました。委員の希望された「厚生年金適用関係の手引き」については、各種手続きごとに、説明ページと届書ダウンロード機能がありますが、たしかに「手引き」は掲載されていないため、本部関係部署に要望してまいります。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
50	委員 平成29年10月20 日開催の調整会議	年齢別の国民年金納付率がわかる資料を出していただけたらと思いますが、いかがでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成30年3月20日）	地域年金展開事業を審議していただくためにも、状況把握できる資料として今回から資料として提示します。ただし、年1回しかリスト作成されません。
51	委員 平成30年10月17 日開催の調整会議	強制徴収、免除者数（特に学生納付特例）の件数等資料があればと思いますが、いかがでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年3月23日）	前回の会議でご要望がありましたので、今回から資料として提示します。
52	竹中委員 令和3年3月 書面開催の調整会議	資料を拝見して皆様方の仕事の大変さを感じました。ところで配布された資料が1～10と相当な量があり作成や印刷にもかなりの時間がかかっていると思います。内部では必要な資料であっても運営調整会議委員としては必ずしも必要でない場合もありますので配布資料を検討しても良いのではないかと思います。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年3月23日）	前回の会議でご要望がありましたので、今回から資料を変更いたしました。
53	木屋村委員 令和3年3月 書面開催の調整会議	現時点で新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立っていないことや、徳島県が全国に先駆けて小中学校に加えて高等学校段階の生徒にも1人1台タブレット端末を配備する「徳島県GIGAスクール構想」が本格的にスタートするので、オンライン視聴など、工夫した説明会の開催が可能となります。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年3月23日）	令和3年3月において新型コロナウイルス感染拡大が収束していないことから、日本年金機構は、「オンラインビジネスモデル実現の推進」を重点取組施策と位置づけて取り組んでおり、地域年金展開事業についても、年金セミナー・年金制度説明会・年金委員研修等のオンライン開催等、対面型から非対面型による取組への移行を更に進めています。 なお、実施にあたってはWeb会議ツール等を使用した非対面による実施を基本としますが、教育機関から要請があり、当該機関における新型コロナウイルス感染防止対策の徹底が可能な場合は、対面での開催も可能です。また、セミナー用動画（DVD）を活用した方法も検討していきたいと思います。
54	角委員 令和3年3月 書面開催の調整会議	資料6によりますと、県内3事務所とも20歳での国民年金保険料の納付率が低いことが見受けられます。そのことに鑑み、更なる制度周知（障害年金、学生納付特例等）の必要性を感じております。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年3月23日）	「日本年金機構令和3年度計画」において、20歳到達者について、職権による資格取得手続を行った後、加入のお知らせと同時に納付書を送付することにより、納付が促され、納付月数が増加傾向にあることから、納付に重点を置いた制度周知及び納付勧奨に係る施策を強化するとしています。 これを踏まえ、「20歳到達者は、制度の入口時点における取組状況が将来的な納付行動に及ぼす影響が大きいと考えられることから、納付に重点を置いた取組を早期かつ確実に実施する」こととしており、その取組の一環として、20歳到達者に対する加入前のお知らせを送付しています。 また、20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務づけられていますが、納付が困難な場合、学生については、申請により在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。本人の所得が一定以下の学生が対象となります。学生納付特例制度の申請を希望される場合は、国民年金加入のお知らせ等と一緒に送付される学生納付特例申請書を利用していただくこととしています。また、学生ではない期間は、保険料免除・納付猶予制度の対象となります。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
55	中西委員	地域型年金委員について 奉仕的協力員という位置づけから無報酬である事や、その活動内容が多岐にわたり場合によっては相当な負担になる事等から、推薦に臨んでは、先ず制度の十分な周知を図ったうえで本人の申し出によることが望ましいと考えます。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	年金委員は、年金制度について広く国民の皆さまに知っていただくとともに、制度への理解と信頼を深めていただくため、会社や地域においての普及・啓発活動を行っていただくために設置されました。地域型年金委員は、自治会や地域で活動することにより、年金相談が身近で気軽なものとして、地域住民と年金事務所を結ぶパイプ役として心強いものとなります。地域型年金委員の推薦にあたっては、原則として国または地方公共団体等の職員として年金事務に従事したことがある者または現に自治会長、民生・児童委員または社会保険労務士である者、その他過去に年金委員（社会保険委員および国民年金委員を含む。）として委嘱されていた者とされています。是非、制度の趣旨をご理解いただきたいと思います。
	令和3年3月 書面開催の調整会議			
56	仲野委員	・年金制度は、一般の方（特に若年層）には理解しにくい制度だと思います。コロナの対応として、非対面型の周知広報が進むのであれば、年代別の広報ツール展開など幅広い広報をすすめてはどうかと考えます。 ・若年層の納付率について、20歳になって初めての文書案内（年金手帳の交付など）が、面倒に感じさせないように、また、保険料の負担が、結果、将来の自分のためになるということが伝わりにくいように感じます。やはり、地道でも広報を続けていく必要があるかと思えます。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	・日本年金機構では、年金セミナーや年金制度説明会を充実させるため、退職者及び外国人向けの制度説明の動画をそれぞれ作成し、日本年金機構ホームページ及び厚生労働省Youtubeチャンネル等に掲載し、階層別の周知・広報を進めています。 ・若年層対策では、県下の高校生に対する年金セミナーを実施し、『20歳になったら国民年金』という意識を持ってもらえるよう取組をしています。令和2年度からは、20歳到達者向けに制度周知用の動画を作成し、日本年金機構ホームページに掲載してお知らせしています。この動画は、若年者の意見を反映するためにモニタリングを実施した上で作成し、①年金制度やメリットなどの紹介、②保険料の納付方法、③学生納付特例制度、④免除・納付猶予制度、⑤臨時特例免除の5つで構成し、分かりやすい内容としています。また、日本年金機構公式Twitterからも毎月、周知・広報を行っています。令和4年2月には、職域型年金委員を委嘱している事業所に勤務している従業員を対象に、Microsoft Teamsを使用したオンライン年金制度説明会（老齢年金請求手続き、在職老齢年金について）を実施しました。今後もオンラインセミナー・制度説明会等を充実し、非対面型の周知・広報をさらに進めていきたいと考えます。
	令和3年11月 書面開催の調整会議			
57	中西委員	コロナ禍にあって、どの年金事務所とも保険料納付率が前年・前々年度を上回るなど地域年金展開事業による事業と職員の方々の丁寧な取組の成果であると拝察します。また、市町村（職員）の立場としてお願いがございます。私共の下には、「年金事務所との電話が繋がらない」という住民の切実な声が多く寄せられております。年金事務所の職員の皆様が大変なご苦労をされている事は承知の上でございますが、この点について更なるご検討をいただければ幸いです。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	年金事務所の電話が繋がりにくいということに対して、ご迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。日本年金機構の執り行う業務は、窓口や電話対応、バックヤード業務など多岐にわたっています。住民サービスの観点からも、いずれも大切な業務となっています。今回のご指摘については、貴重なご意見として承り、職員一同、より一層努力して参りたいと考えます。
	令和3年11月 書面開催の調整会議			

委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
58	竹中委員 令和3年11月 書面開催の調整会議	・徳島文理大学の主に3年生を対象として授業の際、次のことについて手を挙げてもらいました。（人数が多いので、数は数えていません） ①年金の手続きについて、「納付」、「猶予」、「何もしていない」 ②年金制度について将来も続くと思うか、あるいは、給付額は維持されると思うか。 ③行政（国）や政治・政治家に対する信頼はあるか。 その結果は次の通りです。 ①については、「納付」が若干、「猶予」もそれなりにいたが、半数以上が何もしていない。 ②は、2/3程は給付額は維持されないと思いい、1/3程度が制度自体の維持に疑問を持っている。 ③については、大半が信用も信頼もないとした。 ・ここで議論してもどうしようもないし公的年金事業の運営に大変なご努力をしている貴事務所には大変失礼ですが、納付率向上のためには、政府や政治家に対する信頼が最も重要なことだと思いました。 ・高校生へのセミナーに加えて、納付が始まる主に大学2年生に対面で周知することも効果があると思いました。その際、年金制度の課題も合わせて説明することが欠かせないと思います。なお、年金制度や行政への信頼ということから考えるとパンフレットやポスターの効果は疑問です。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	貴重な授業でアンケートのお時間を取って頂き誠にありがとうございます。 ・この結果を受けて、年金制度が学生等の若年層に浸透しておらず、周知・広報が行き届いていないことを痛感しています。公的年金制度は、「世代と世代の支え合い」と言われるように、広く世代・年齢、地域・職域を越えた社会連帯の下に成立しているものです。 公的年金制度の運営にあたる日本年金機構にとって、地域、教育、企業の中での年金制度の周知、理解や支援のネットワークの再生・再構築が喫緊の課題です。年金制度に対する理解をより深め、制度加入や保険料納付に結びつけるため、地域に根ざした「地域における年金運営の展開に関する事業」（呼称：地域年金展開事業）を平成24年度から実施しています。学生等の若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただくこと、また、年金制度が身近で重要なものであると学んでいただくことは、地域年金展開事業の核となる取組です。 ・これまで地域年金推進員を委嘱している間は、高校生に対する年金セミナーを中心としていましたが、令和4年度については、大学生に対する年金セミナーも実施していきたいと考えます。 ・日本年金機構としては、「オンラインビジネスモデル実現の推進」を重点取組施策と位置づけて取り組んでいます。地域年金展開事業についても、年金セミナー・年金制度説明会等のオンライン開催等、対面型から非対面型による取組への移行をさらに進めていき、学生等の若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解してもらえるよう取組んでいきます。
59	上野委員 令和3年11月 書面開催の調整会議	コロナ禍における従来の説明会等が実施できなかった事例が多数あるがコロナを理由にできないというのは、理由として弱いので積極的な取組を望みたい。 若い人達の年金離れ（加入はしていても気持ち、特に期待感が薄くなっている）の対策がのぞまれる。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	令和3年度においても、新型コロナウイルス感染拡大が収束していないことから、日本年金機構は「オンラインビジネスモデル実現の推進」を重点取組施策と位置づけて取り組んでいます。地域年金展開事業についても、年金セミナー・年金制度説明会・年金委員研修等のオンライン開催等、対面型から非対面型による取組への移行をさらに進めています。 若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただくこと、また、年金制度が身近で重要なものであると学んでいただくことは、地域年金展開事業の核となる取組です。国民年金保険料の納付率については、年齢層が上がるにつれて高くなる傾向にあります。言い換えれば、若年層の納付意識の向上が重要な課題であると言えます。そのため、年金セミナー等の開催や20歳加入時の周知・広報など、さらに充実するよう取組んでいきます。

委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
60	仲野委員 令和4年3月 書面開催の調整会議	年度末、年度初めにかけて、年金の制度改革が多くメディアで報道されています。加入者への普及活動については、将来を見据えた、安心できるような丁寧な説明をお願いしたいところです。 しかしながら、コロナの影響もあり、オンライン、DVDなど非対面での取り組みを進めていくとありますが、どうしても加入者に伝わりにくい部分もあると思います。制度周知には、特に若年層（大学生、採用間もない職員）の年金の将来に対する期待は低いと考えられるので、加入者との接点が増えるような取り組みをお願いします。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	令和4年度は制度改革が多いことから、加入者の皆様への制度周知等の広報活動を充実していかなければならないと考えています。しかし、コロナの影響から、今年度においても引き続きオンラインやDVDでの説明会を実施していく予定としています。なお、対面による説明会も希望に応じて実施します。非対面の説明会では、伝わりにくい部分もあるとのことご意見を踏まえ、今後は講義スタイルだけではなく、参加型の説明会（例えば「拳手」をいただく方法等）を検討します。
61	中西委員 令和4年3月 書面開催の調整会議	以前、運営調整会議（書面開催）において、地域型年金委員の一層の周知をお願いいたしましたところ、早速、本市の自治会や民生委員の会議に足を運ばれる等、真摯な取り組みをいただいたことに敬意を表します。 年金委員の活動によって、年金相談がより気軽に行われるなど、年金制度がより多くの住民の皆様身近なものとなりますようご期待を申し上げます。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 年金相談が気軽に行え、年金制度が身近なものとなるよう、引き続き努めてまいります。
62	小笠委員 令和4年3月 書面開催の調整会議	・今後の年金制度において、将来の年金制度の屋台骨を背負うことになる若者の理解と協力は不可欠であると考えます。このため、すでに取り組まれている「動画」や「イラスト・マンガ（厚生労働省）」等を活用した若者向けの取っ付き易く、かつ、わかりやすい広報の充実にも努めていただきたいと思います。 ・働き方改革の推進及び（事業主負担を伴うものの）優秀な人材の確保の観点からも「短時間労働者の厚生年金保険の適用対象事業所（特に任意適用事業所）」の拡大及び積極的な運用のための周知広報にも積極的に取り組んでいただきたいと思います。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・学生等の若年層に年金制度の正しい知識や手続きを理解いただくことは重要なことです。日本年金機構としてそのための、手段として（１）広報誌、ポスター、リーフレット等お客様向け文書の作成及び配布、（２）機構ホームページへの掲載（３）チャットボットや動画の活用（４）SNS（Twitter等）及びインターネット広告等を計画しています。今後も、わかりやすい広報の充実にも努めてまいります。 ・短時間労働者の厚生年金保険適用対象事業所の拡大は、令和4年度の大きな事業の一つです。対象となる事業所に対して、社会保険労務士と協力しながら事業主からの相談対応、説明会等への講師派遣や従業員一人一人への年金相談等を行うこととしています。また、事業所調査時にも、短時間労働者の適用の範囲等をその都度ご説明をしています。周知に向けて引き続き取り組んでいきます。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
63	竹中委員	高等学校・専門学校に対する年金セミナーが2学期3学期に集中することですが、開催依頼の送付時期をもっと早くした方がよいではありませんか。4月ではすでに担当の行事は決まっていると思われます。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	高等学校における年金セミナー実施のアプローチについては、新年度の学年主任にさせていただきたいとの要望があったことから、4月になって開催依頼を行っていたところです。4月になってからの開催依頼では、すでに年間行事の大半が決まっている状況とのご意見をふまえ、送付時期について地域年金推進員とともに検討したいと考えます。 また、大学生の年金セミナーについても、学生の単位の取得等の関係から時間の調整が難しいところですが、大学側の理解が得られるようであれば実施していきたいと考えています。
	令和4年3月 書面開催の調整会議	大学2年生が加入の時期となるものの、親元から離れて生活している場合、本人が気づかないことも多いと思います。大学生を対象に、年金セミナーとともに加入手続きについて、情宣活動などを実施したことはありますか。実績がなければ試行を検討してもよいと思います。		